

韓国

廃バッテリー対日輸入減

10月6684トン、単価は高値更新

韓国関税庁がこのほど発表した10月の貿易統計によると、日本からの廃バッテリー（使用済み自動車用鉛蓄電池）輸入は前月比25・9%減の6684トンと大きく減少した。一方、

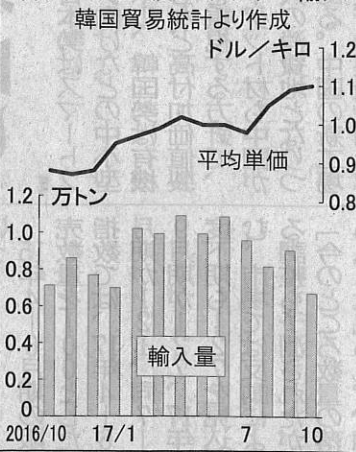
輸入平均単価はキロ0・01ドル高の1・10ドルと小幅ながら高値を更新した。鉛リサイクル原料の廃バッテリーは、鉛二次精錬が盛んな韓国の高値買いが続いている

が、現在は日本側の輸出認可更新が全面ストップ。貿易枠は徐々に縮小しているとみられ、対日輸入量は6月までの1万ト前後からは減少傾向にあり、10月は2016年1月以

来の低水準となった。前年同月比ベースでも6・4%減と、7カ月ぶりの減少だった。輸入平均単価は3カ月連続で上昇し、過去最高値を付けた11年9月（1・18ドル）以来の

水準。ロンドン金属取引所（LME）の鉛相場で上昇を反映したものが4カ月連続でアップしている。10月は月間平均単価は前月比10・3%減の

韓国の対日廃バッテリー輸入



3万8097トン。主な輸入先は米国9183トン、アラブ首長国連邦(UAE)7717トン、日本6684トン、ドミニカ共和国2691トン、ニュージーランド1618トン、シンガポール1507トン、豪州1497トン、南アフリカ1207トン、トogo1092トンと続いた。日本は5カ月連続で最大輸入相手国だったが、外れ、7月比で倍増した米国が6カ月ぶりの最多だった。